

デザイン学科 カリキュラムフロー

CP	1年次	2年次	3年次	4年次	学修目標	DP
■専門教育課程を履修する上で、また社会に出てデザイン分野等で活躍する上で求められる幅広い知識や技能の修得ができるよう、初年次教育やアントレプレナーシップ・キャリア教育、リベラルアーツ・データサイエンス教育に関係する科目を低学年で開講するとともに、情報リテラシー教育を多学年にわたって行う。 ■国内外の様々な背景を持った人々と良好な人間関係を構築できるよう、アクティブラーニングを活用した授業やネイティブによる英語の授業を多学年にわたって開講し、コミュニケーション能力と英語力の醸成を図る。	リベラルアーツ（人文）	人文科学特論			→ 1_1 教養的知識	基礎的・汎用的知識と技能
		リベラルアーツ（社会）	社会科学特論	日本国憲法		
		健康科学概論	リベラルアーツ（自然） （健康科学概論）	自然科学特論		
	イングリッシュコミュニケーションI 基礎日本語I	イングリッシュコミュニケーションII 基礎日本語II 英語留学研修	イングリッシュコミュニケーションIII 基礎日本語III （英語留学研修） TOEIC演習 実践英語	イングリッシュコミュニケーションIV 基礎日本語IV （TOEIC演習） 実践英語	→ 1_2 コミュニケーション能力	
	情報処理基礎	情報処理特論 データサイエンス入門	データサイエンス特論	アカデミック英語	→ 1_3 リテラシー	
	初年次セミナー		科学方法論入門		→ 1_4 論理力	→ 1_5 アカデミックスキル
	基礎演習I					
	アントレプレナーシップ入門	基礎演習II	イノベーション論I イノベーション論II 企業プロジェクトA 企業プロジェクトB	ビジネス概論 学生プロジェクトA インターンシップA 学生プロジェクトB インターンシップB 就職セミナー	→ 1_6 未来を切り拓く力	
CP	1年次	2年次	3年次	4年次	学修目標	DP
■デザイン分野で必要とされる知識を年次進行之とともに段階的に身につけることができるよう、平面及び立体構成、基礎デッサン、色彩、デシタル表現、デザイン史などの科目を多学年にわたって開講する。 ■デザインの専門家として地域や社会において求められる役割を理解し、地域、社会、美術教育現場のそれぞれに応じた適切な貢献ができるよう、地域や社会との繋がりを意識させる科目や、デザインの実践を取り上げる応用科目を多学年にわたって開講し、デザイン専門分野での対応力の醸成を図る。	西洋彫刻論	美術領域論I	美術概論		2_1 デザイン思考を涵養する美意識	専門的知識と技能
	デザイン概論	美術領域論II デザインと世界 プロダクトデザイン論 グラフィックデザイン論 マンガ史概論	学外演習A 学外演習B			
	デザイン史				→ 2_2 デザイン史の知識・理解	
	日本美術史	東洋美術史				
	西洋美術史					
	基礎デッサンI デザイン基礎実習I 色彩構成基礎	基礎デッサンII デザイン基礎実習II デザイン技法I デジタルデザイン技法II プロダクトデザイン基礎 グラフィックデザイン基礎 マンガ表現基礎	色彩論演習 造形工作技法 デジタルファブリケーション タイポグラフィ実習 イラストレーション実習 フォトデザイン実習		→ 2_3 基礎的デザイン力	
			デザイン発想論演習 プロダクトデザイン演習I グラフィックデザイン演習I マンガ表現演習I	UX実習 プロダクトデザイン演習II グラフィックデザイン演習II マンガ表現演習II	→ 2_4 実践的デザイン力	
			プロダクトデザイン演習III 製品デザイン演習 グラフィックデザイン演習III マンガ表現演習III 情報デザイン演習 映像表現演習 デザイン構想演習	プロダクトデザイン演習IV 空間デザイン演習 グラフィックデザイン演習IV マンガ表現演習IV		
CP	1年次	2年次	3年次	4年次	学修目標	DP
■デザインにおける倫理に関する事例を取り上げる科目を、それまでに獲得したデザインの専門知識の深さに比例する形式で段階的に開講する。 ■社会の構造やその変化を的確に捉え、デザインに関わる人間として自己成長しようとする姿勢を身につけられるよう、デザインの専門家としての地域や社会との関係性を取り上げる科目を継続的に開講する。	健康スポーツ教育I	健康スポーツ教育II			→ 3_1 自己管理能力	人間性・社会性
	ビジネスプランニング入門				→ 3_2 協働性	
	デザイン技法II				→ 3_3 倫理観	
CP	1年次	2年次	3年次	4年次	学修目標	DP
■デザインに関わる様々な問題を発見し、解決に導く実践能力を培うことができるよう、3年次に専門領域の実習を配し、その経験を4年次の卒業研究へと接続させることで、総合的・創造的思考力の醸成を図る。 ■卒業後、デザインのエキスパートとしてあらゆる分野で活躍できるよう、卒業研究を中心としてデザインプロジェクトやゼミ活動を展開し、自らが見出した知見を社会に発信する能力の醸成を図る。	デザインプロジェクトI	デザインプロジェクトIII	デザインプロジェクトV	プロダクトデザインゼミI グラフィックデザインゼミI マンガ表現ゼミI	→ 4_1 課題発見力・提案力	応用力・実践力
				卒業研究	→ 4_2 実務的専門技能	
	デザインプロジェクトII	デザインプロジェクトIV	デザインプロジェクトVI		→ 4_3 学外活動の反映力	

※太字は必修科目、橙太字は専門基礎の選択必修科目、緑太字は専門共通の選択必修科目、赤太字はプロダクトデザインコースの必修科目、青太字はグラフィックデザインコースの必修科目、紫太字はマンガ表現コースの必修科目